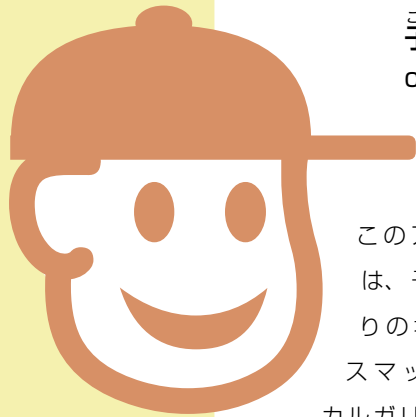


グリーンマップ アイコン ストーリー

ぶん しゃしん ほりうち まさひろ
文・写真 堀内正弘

生活関連アイコン

まず、自分の身のまわりからはじめよう。
グリーンマップ・アイコンには、自然食品店があるがコンビニはない。探すのが大変だが、それは生活や地域、地球環境のために何が良いかを考えるためだ。



こども ぼしよ
子供にやさしい場所
Child Friendly Eco-site

グリーンマップのエッセンスは、そのアイコンに詰まっている。グリーンマップ・アイコンは、いろいろな地域の事情に合わせて生み出されてきた。そこには厳密性、一貫性が感じられないかもしれないが、アバウトでフレキシブルなところが、グリーンマップの魅力かもしれない。アイコンごとに世界を見てまわると、それぞれの文化の違いがわかり、ユニークな事例を知ることができる。

ほねぎ プレイパーク (せたがやグリーンマップ)



エコノミーキャンデー (ローマップ)
Economy Candy Shop
108 Livingston St. 212-254-1531
A neat shop that has been in my neighborhood for a very long time. Shop in bulk for nuts, dried fruit and sweets. ♡ R-9
Rは学校名(凡例による)、9は年齢を示す。



こうれいしゃ ぼしよ
高齢者にやさしい場所
Senior Friendly Site

高齢者のお気に入りの場所、高齢者に使いやすい施設など。日本からば地球のちょうど裏側、チリのサンティアゴグリーンマップ制作者たちが、社会の中の大切なものを示すアイコンが少ないと思いい、提案した。



さん ちちよくばい いちば
産地直売・市場
Farmers Market

地域でとれた農産物などを直接販売するところ。無人販売スタンドもOKだ。



ユニオンスクエア (ニューヨークグリーンマップ)



ゆうきさくもつ しぜんしょくひんてん
有機作物・自然食品店
Organic Produce/
Natural Food Shop

有機栽培による野菜など、体の健康によい食品素材を売る店。昔ながらの方法で良い材料を使って豆腐を作っている店などもOK。(せたがやグリーンマップ)



しぜんしょく
自然食レストラン・カフェ
Vegetarian/Natural Cafe

菜食など自然食を使った飲食ができる。そばなど日本の伝統食もOK。上の三つには自然食のシンボルとしてリンゴが共通で使われている。



たすけあい

Green Business/Service

もともとは、環境ビジネスを意味するが、それだけの意味で使うのはもったいないアイコン。手を結び合っているデザインから、たすけあいと名付けた。



コミュニティセンター

Community Center

地域の交流を深めるための活動に用いられる集会所など。ハート型がコミュニティのシンボルとなっている。



エコショップ

Green/Conserving Products

環境にやさしい商品を販売している店など。省エネのシンボルとしてコンパクト蛍光灯の形がアイコンになっている。



歴史あり

Historical Feature



古代の矢じりのかたちから由来する。歴史的な古い建物のほか、石碑なども。左の写真はとうりゃんせのわらべ歌発祥の地。(川越グリーンマップ)



伝統的生活区域

Traditional Way of Life

もともとは、アメリカインディアンなどの先住民の居住区域を示す。昔ながらの産業が残るところや、技を伝える職人なども含めてみたらどうだろうか。(せたがやグリーンマップ)



文化関連アイコン

環境に文化の項目が入っていることも、グリーンマップがユニークなところだ。文化や芸術は、人が豊かな時間を過ごすために昔から継承しているもので、それを忘れないようにしたい。



やすらぎの場

Eco-Spiritual Site

森の中、大きな木の下など、特別にくつろげる場所。1995年、京都の法然院で

世界中から集まった環境を考えるデザイナーたちが多くのアイコンを創り出した。これはそのうちのひとつで、瞑想する僧侶の姿がもともになっている。法然院 (京都グリーンマップ)



アートのスポット

Art Spot

アートを見るのに、美術館やギャラリーに行く必要はない。壁画や彫刻など、まちなかにあって誰でも楽しめるアートを探してみよう。(ポートランドグリーンマップ)



(ローマップ)



学校・図書館

Environmental School

もともとは環境スクールだが、特別な学校を探す必要はない。あなたの学校や近くの図書館でも、環境について学んだり調べたりすることができる。



さんぽ道

Best Walks

安全に楽しいさんぽのできる道。みどりゆたかで自然が感じられる道や、車の少ない裏道には、いろいろと発見がある。哲学の道 (京都グリーンマップ)



文化あり

Cultural Site

音楽ホールや記念館などの文化施設。皆に愛されている、文化的な香りのするおみせ店などにも使っている。



美術館・博物館

Museum/Institution

芸術作品や歴史的な物の展示や研究を行っている施設。



りっぱな木
立派な木
Special Tree

おおきな木、珍しい木、天然記念物の木、保存樹木

など。まちかどで特に目立つ木なども記録しよう。木のてっぺんにかんむりをつけたのが元のアイコンのかたち。下の写真はスウェーデンのマルメの公園にある不思議なかたちをした木だ。(マルメグリーンマップ)



みんなの公園
Parklands/
Recreation Area

みどり、ゆたか、緑が豊かで、楽しく遊べる公園など。



みんなの森
Parklands/
Recreation Area

自然の森や林、裏山、神社や公園、お屋敷の庭など、まとめて沢山の木があるところ。ハコダテスローマップによると、函館山には約600種の植物と約150種の野鳥が生息しているようだ。



畑・果樹園
Eco-Agriculture Site

有機栽培の農場を表すが、普通の畑や果樹園に使うのもOK。アメリカのスクラントンで、地元で作られた農作物を賣うことは、小さい農家を支援緑を守ることにつながるので作られたアイコン。

植物関連アイコン

植物の種類で分類されているのではない。あくまでも人の生活との関係でどのよう役割をもっているかという視点である。ふだん見過ごしてしまうような、身近にある植物を観察してみよう。



きれいな花
Spring Blossoms

ももとは桜の名所を示すが、それ以外の花に使ってもOK。



コミュニティガーデン
Special Community Garden

住民が自分たちで管理し、住民どうしの交流の場としているお花畑や菜園。休憩所が設けられているところもある。ニューヨークのコミュニティガーデンを開発から守ることが、いちばん最初のグリーンマップのテーマのひとつだった。(ニューヨークグリーンマップ)



なみきみち
並木道
Shaded Boulevard

このアイコンが作られたのはイスラエルのテルアビブだ。暑い国なので、木陰を与えてくれる並木道が人気に違いない。



庭園
Garden

公開されて、中を散策できる庭園や植物園など。通りから見える個人庭園もOK。



虫の観察
Insect Watching

昆虫などの小さな生き物がいるところ。もともとは、京都グ

リーンマップが作ったホタルアイコンがあり、それから光を表す三本の線を消して作られたものだ。

これが元祖ホタルアイコン



両生類
Amphibian Habitat

カエルなどの両生類の生息地。オーストラリアのアデレードで、初めは水がきれいなクリーク(小川や入り江)を表すアイコンとして作られた。カエルたちの住むところは水がきれいだからだ。



貴重生物のすみか
Significant Habitat

貴重な野生生物の生息地。京都グリーンマップには、モリアオガエル、やまね、オオサンショウウオなどが京都の貴重生物として紹介されている。



ドッグラン
Dog Run

都会では犬は必ずくさりなどでつないでおかないといけないが、ニューヨークの公園などでは、柵の中で犬を放すことができるドッグランがある。

(ニューヨークグリーンマップ)



動物関連アイコン

都市であっても、身近に小さな生き物や鳥などが見られるということは、そこには自然が残り、良い環境であることの証拠だ。生き物だけでなく、その周辺にながめるか、観察してみよう。



野鳥の観察

Bird & Wildlife Watching Site

視界が開け、野鳥や野生の生き物の観察ができる場所。



水辺の生き物

Coastal Habitat

海岸や河岸の水辺に飛来する水鳥や、陸上の生き物の生息地。



水中の生き物

Marine Habitat

海岸や河岸の水辺に飛来する水鳥や、陸上の生き物の生息地。



家畜

Farm Animals

農家などで飼育されている動物がいる場所。スウェーデンのマルメグリーンマップでは、地域で循環する食物のネットワークをサポートしているので使われている。馬のひづめのかたちを表す。

水と親しむ場所

River & Water Front Park



小川や海、湖、池など、水で遊んだり水面をながめることができる場所。ねこじゃらし公園（せたがやグリーンマップ）



わき水

Water Feature

湧や、地下から自然に水がわき出ているところなど。わき水があると豊かな生態系が形成され、多様な動植物が生息する。人工的なビオトープに用いてもOK。左の写真は、埋もれていた水源を復元して生み出されたビオトープ。（アメリカ・パークレイグリーンマップ）



飲料水源

Drinking Water Source

河川、貯水池や浄水場など、飲み水が来るところ。井戸にも使うのもOK。西宮グリーンマップでは井戸のアイコンを考案した。



きれいな夕日

Sunset Site

夕日の方角にひろびろとした視界がひろげ、夕日が沈むのをゆったりと楽しむことができる場所。朝日につかうこともできる。



星の観察

Star-Gazing Site

周囲が暗く空気がきれい、星の観察に適した場所。天文台やプラネタリウムに使うこともある。

地球関連アイコン

地球とはスケールの大きな話だが、わざわざ遠くまでいかなくても、身近なところで地球の存在を感じることができるところを探そう。水は地球が生き物に与えてくれる大切な恵みだ。



すばらしいながめ

Star-Gazing Site

遠くへの見渡しがよく、すばらしいながめを楽しめる場所。

（アメリカ・サンフランシスコグリーンマップ）



大自然

Wilderness Site/Info

人の手が加えられていない自然が残るところ。



（ローマップのイラストより）



オープンスペース

Open Space

広々とした河川敷など、開放的な空間。東京自転車グリーンマップでは屋上庭園に使用している。多摩川河川敷（せたがやグリーンマップ）





リユース (再利用)

Reuse Site

不要になった物を、必要とする人に渡し、そのままの形で再利用する。



リサイクル

Recycling Site

資源となる廃棄物を回収し、新たなものを作る原料に再生する。

いらなくなったもの(洋服・電化製品、本など)が、そのままの形、もしくは修理・加工されてから新しく誰かの手元に渡る流れをリユースという。古本屋、古着屋、リサイクルショップ、フリーマーケット、バザーなどがこれに当たる。



英語では、古本や古着のことを「second hand」、中国語でも「二手」という。新たに物品の形を工場などで変える必要がなく、2つの手しかかからないわけだ。

左は、空き店舗を改装した古道具屋の例。(東京向島グリーンマップ)



水循環

Water Recycling System



雨水を溜めた利用、地下への雨水浸透、中水の利用、汚水の自然浄化システムなど。雨水をためて使うためのシステムが売られている。(東京向島グリーンマップ)

資源関連アイコン

資源というと、遠くでとれる石油や鉄鉱石などを思うが、まちの資源は廃棄物、つまりゴミだ。捨てないで資源にするためのアイデア、石油を使わない自然のエネルギー源などを探そう。



コンポスト

Composting

生ゴミや落ち葉などを、バクテリアの力で肥料にすることをコンポストという。コミュニティガーデンなど、都市でも生ゴミのリサイクルができる。



太陽エネルギー

Solar Energy Sites

太陽電池や太陽温水器などで、無限にある太陽エネルギーを使用しているところ。温室も太陽の熱を集める方法だ。下は、ニューヨークのコミュニティガーデンに設置された太陽電池。(ローマップ)



風力エネルギー

Wind Energy Site

風車や風力発電機などで、無限にある風力エネルギーを使用しているところ。オランダで風車をアイコンにしたのが最初。下は、デンマーク・コペンハーゲンの海沿いにある風力発電機(エコマップ)



自転車

Bicycle Site

パンク修理をしてくれる自転車屋、レンタサイクルなど、自転車利用をすすめるために便利なお店や施設など。下は、駅に隣接したレンタサイクル。(デンマーク・コペンハーゲンのエコマップ)



駐輪場

Secure Bike Parking

駐輪場の場所がわかりにくいので、めいわくな違法駐輪が多い。せたがやグリーンマップでは、鍵を×印に変えた違法駐輪のアイコンをつくった。



自転車レーン

On Road Bike Path/Bridges

車道、歩道とは別に、自転車が走るレーンが設けられている道路や橋。下はコペンハーゲンの例。



交通関連アイコン

ガソリンを使う自動車の使用を減らすために、公共交通機関や自転車を上手に利用するのに必要なアイコンが多い。ガソリンスタンドは無いが、将来の自動車に必要な施設のアイコンがある。



くるま 車いすOK
Wheelchair Accessible

車いすが通れるように、階段などの段差を無くす配慮、スロープやエレベーター、車椅子用トイレの設置など。



ろめんでんしゃ 路面電車
Light Rail Transit

路面電車などの、人と環境にやさしい公共交通機関。下の写真はLRTという、床の高さを低くして、車いすの人がほかの人の助けを借りずに乗れるようにした新型の路面電車。

(アメリカ・ポートランドグリーンマップ)



フェリー乗り場
Ferry

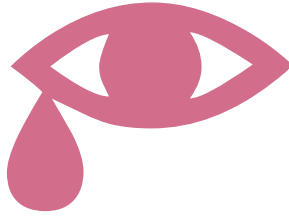
橋がないところなどでは、フェリーが主要な公共交通機関だ。ゆっくりと景色を楽しみながら移動するのも風情がある。



(ローマップのイラストより)

かな ばしよ 悲しい場所

Blight Site



汚れているところなど、いろいろな環境問題、迷惑なことなどに使えるアイコン。なぜ、そのようなことになったのか、原因を考えてみよう。



(ローマップのイラストより)

ほこうしゃゆうせん ゼーン 歩行者優先ゾーン

Public Square/Car-Free Zone

商店街や住宅地などで、車よりも歩行者が優先されるように作られたゾーン。標識があり、車のスピードを下げる工夫がされている。



ひろば まちの広場

Public Square/Car-Free Zone

車の進入が禁止された、歩行者中心の落ちつける広場。車が入ってこない、待ち合わせしたり本を読んだりするのに気持ちが良い。階段に腰かけることができ、車いすも通ることができる。

(ポートランドグリーンマップ)



汚染関連アイコン

危険なもの、汚染のもとになるものなど、生活や環境に良くないもののアイコンがあるのもグリーンマップの特徴だ。原因をよく調べてから書かないと、迷惑をかけることがあるので注意しよう。



そうおんげん 騒音源

Noise Pollution Source

工場から出るうるさい音、自動車の通る音など、騒音でうるさいところ。



たいきおせん 大気汚染

Air Pollution Source

空気の汚いところ、大気汚染の原因となっているものがあるところ。ゴミの野焼き、古いゴミ焼却炉など。



こうつうきけん 交通危険ゾーン

Traffic Hazard Zone

歩行や自転車で通過するのが危険な交差点など、交通事故が多い地点や地区。日本は横型だが、外国に多い縦型の信号機の形がアイコンになっている。



ふほうとうき ゴミ不法投棄

Waste Dump

ゴミ収集所でないのに、粗大ゴミなどが不法に捨てられている場所。まちが汚れると皆の心まで汚れてしまう。



ふつうのアイコンに斜めの線を入れると、悪い意味になります。これは、荒れている公園。

グリーンマップ・ギャラリー



アメリカ・ニューヨークグリーンマップ



きょうと
京都グリーンマップ



アメリカ・ロードアイランドグリーンマップ



きょうとじてんしゃ
京都自転車グリーンマップ



カナダ・カルガリーグリーンマップ



オランダ・じてんしゃ
自転車グリーンマップ



せたがやグリーンマップ・くほんぶつ
九品仏まちめぐり



かわさき
川崎グリーンマップ・かみさくのべへん
上作延編



せたがやグリーンマップ・ふたこたまがわ
二子玉川まちめぐり



アフリカ・トロログリーンマップ



とうきょうじてんしゃ
東京自転車グリーンマップ・なごみマップ

<http://greenmap.jp/mirai/>

レッツ・グリーンマップ! 2004年7月7日発行

制作: **みらいグリーンマップ・プロジェクトチーム**
グリーンマップ・ジャパン

多摩美術大学大学院
コミュニケーションデザイン専攻 堀内正弘研究室

広島大学大学院
工学研究科建築意匠学研究室 千代章一郎ゼミナール

協力: **朝日新聞社**

協賛: **富士写真フイルム株式会社**



富士フイルムは、グリーンマップの活動を応援しています。

